

48 番の歌 毎日エホバと共に歩む

エホバのように謙虚な人になる

「皆さんは子供として神に愛されているのですから、神に倣ってください」。エフェソス 5:1

ポイント：謙虚なエホバにどう倣えるか、4つの点を考えます。

1. エホバが謙虚なのはすごいことです。どうしてですか。

世の中で権力を持っている人たちは、たいていは謙虚ではありません。でも、誰よりも高い地位にいるエホバはとても謙虚な方です。（詩 113:5-8 誰が私たちの神エホバのようだろうか。神は高い所に住んで(*座って)いる。6 神は身をかがめて天と地を見る。7 立場が低い人を地面から起き上がらせる。貧しい人を灰の山(if*ごみ捨て場)から引き上げる。8 そして高貴な人たちと共に座らせる。ご自分の民の高貴な人たちと共に。) エホバには誇り高ぶったところなど、みじんもありません。いつも謙虚です。この記事ではエホバの良いところを4つ考えます。そこからエホバの謙虚さについて何が分かるでしょうか。イエスはエホバの謙虚さにどのように倣いましたか。こういうことを学ぶと、エホバに引き付けられ、エホバのようにもっと謙虚な人になりたいと思えるはずです。

エホバは話しやすい①

2. 詩編 62 編 8 節からエホバについてどんなことが分かりますか。（写真も参照。）

2 プライドの高い人とは話しづらいと思うものです。そういう人は周りを見下すような態度を取りがちだからです。エホバは全く違います。とても謙虚で、私たちの話を何でも聞こうとしてくれます。それで私たちもエホバに何でも打ち明けたいと思います。（詩編 62:8 民よ、いつでも神に頼れ。あなたの気持ちを全て神に伝えよ。神は私たちの避難所。（セラ）を読む。）優しい父親が子供の話をよく聞くのと同じように、エホバも私たちの祈りを聞きたいと思っています。エホバは聖書に祈りの言葉をたくさん記録させました。エホバが本当に話しやすい方だということが分かります。（ヨシュ 10:12-14 エホバがイスラエル人の目の前でアモリ人を打ち負かした日に、ヨシュアはイスラエルの前でエホバにこう言った。「太陽よ、止まれ！ ギベオンの上で。月よ、アヤロンの谷(*谷あいの平原)の上で」。13 太陽は止まり、月も動かず、イスラエル国民は敵に報復することができた。そのことはヤシャルの書に記されている。太陽は空の中ほどで静止し、ほぼ丸1日、急いで沈むことはなかった。14 エホバが人間の声を聞き入れたこのような日は、後にも先にも一度もない。エホバがイスラエルのために戦っていたのである。サムー 1:10-18 ハンナは非常に苦しんでいて、エホバに祈って激しく泣きだした。11 そしてこう誓約した。「大軍を率いるエホバ、もしあなたが私の苦悩をご覧になり、私のことを思い出してお忘れになら

ず、男の子を授けてくださるなら、私はその子をエホバにお捧げし、一生涯、仕えさせます。その子の頭には決してかみそりを当てません」。12 ハンナはエホバの前で長く祈った。その間、エリは彼女の口元を見ていた。13 ハンナは心の中で話していたので、唇が震えているだけだった。声が聞こえなかったため、エリは彼女が酔っていると思った。14 エリは言った。「いつまで酔っているのか。ぶどう酒を飲むのをやめなさい」。15 ハンナは答えた。「酔っているのではありません。私はひどく思い悩んでいるのです。ぶどう酒などは飲んでおりません。ただ、エホバに気持ちを全てお伝えしているのです。16 私をどうしようもない女のように見ないでください。あまりに苦しくてつらいので、今まで祈っていたのです」。17 エリは言った。「安心して行きなさい。あなたが願い求めたことをイスラエルの神がかなえてくださいますように」。18 ハンナは言った。「これからも私のことを良く思ってくださいますように」。彼女はそこを離れて、食事をした。もう沈んだ顔ではなかった。)でも、何かの理由で自分はエホバに祈れないと思う場合はどうでしょうか。



遊んでいる時に花瓶を壊してしまった息子が父親に話している。
父親はエホバに倣って話をじっくり聞いている。(2節を参照)

3. エホバが私たちにいつも祈ってほしいと願っていることは、どんなことから分かりますか。

3 自分はエホバに愛してなんかもらえない、と思うようなときもエホバに祈れます。どうしてですか。イエスは、家を出ていった息子の例え話の中で、エホバを心の広い父親に例えました。息子は家に戻ることにした時、自分はとても家族に迎え入れてもらえないだろうと感じていました。父親はどうしたのでしょうか。遠くから息子が家に戻ってくる様子を見てすぐに「走って行って抱き締め、優しく口づけしました」。(ルカ 15:17-20 その息子は本心に立ち返った時、言いました。『父の所では大勢の雇われ人に有り余るほどパンがあるのに、私はここで飢え死にしそうだ。18 ここを出て父のもとに行き、こう言おう。「お父さん、私は天に対しても、あなたに対しても罪を犯しました。19 もう息子と呼ばれるに値しません。雇われ人の1人のようにしてください』。20 そしてそこを出て父親のもとに向かいました。彼がまだ遠くにいる間に、父親は息子を見てかわいそうに思い、走って行って抱き締め(*首を抱き)、優しく口づけしました。)エホバはこの父親のようです。罪悪感や心配事で心が折れそうになっている人が祈るとき、エホバはその人を放ってはおけません。見下したりせずその祈りにじっと耳を傾けます。(哀 3:19, 20 思い起こしてください。私が苦悩していて、家もないことを。ニガヨモギと毒のことを。20 あなたは必ず思い起こしてください、身をかがめて私を助けてくださいます。)エホバはそういう苦しい思いをしている人を心からかわいそうに思い、愛を伝え力づけるために、いわば「走って」いきます。(イザ 57:15 永遠に生きて(*住んで)いて聖なる名を持つ、至高の方はこう言う。「私は高く聖なる場所に住んでいるが、打ちのめされた謙遜な人たちと共にいる。謙遜な人たちを元気づ

け、打ちのめされた人たちの心を力づけるために。)では、どのように助けに駆け付けてくれるのでしょうか。長老やエホバの証人の家族、兄弟姉妹を通してです。(ヤコ 5:14, 15 病気がいますか。その人は会衆(*)の長老たちを呼んでください。そして、自分のために祈ってもらい、エホバ(*)の名によって油を塗ってもらってください。15 信仰の祈りは病気が人(if*疲れている人)を良くし、エホバ(*)がその人を起き上がらせてくださいます。また、その人が罪を犯したのであれば、許されます。)エホバはいつも私たちのそばにいたいと思っているので、そうやって支えてくれます。

4. イエスが話しやすい人だったことは、どんなことから分かりますか。

- 4 **イエスはエホバに倣っている。**イエスもエホバと同じように謙虚です。それでイエスは誰にとっても話しやすい人でした。みんなイエスに遠慮なく何でも尋ねることができました。(マル 4:10, 11 イエスが1人になった時、12人と一緒に周りにいた人たちが、例えについて質問し始めた。11 イエスは言った。「あなたたちには神の王国の神聖な秘密に関する理解が与えられていますが、ほかの人たちには全てのことが例えのままです。)イエスから意見を聞かれた弟子たちは、思っていることを自由に話せました。(マタ 16:13-16 イエスはカエサレア・フィリピ地方に来ていた時、弟子たちに、「人々は人の子のことを誰だと言っていますか」と尋ねた。14 弟子たちは言った。「バプテストのヨハネや、エリヤ、エレミヤ、預言者の1人などと言っています」。15 イエスは言った。「でも、あなたたちは、私のことを誰だと言いますか」。16 シモン・ペテロが答えた。「キリスト、生きている神の子です。’)失敗してしまった時も、イエスに怒られるんじゃないかとビクビクしたりはしませんでした。イエスが優しくて思いやりがあり、すぐに怒ったりしないということを分かっていたからです。(マタ 17:24-27 一行がカペルナウムに着いた後、2 ドラクマ税を徴収する人たちがペテロに近づいて、「あなたたちの先生は2 ドラクマ税を払わないのですか」と言った。25 ペテロは、「払います」と言った。しかし、家に入ると、イエスが先に言った。「シモン、どう考えますか。地上の王たちは物品税や人頭税を誰から受け取っていますか。自分の子からですか、それともほかの人からですか」。26 ペテロが「ほかの人からです」と言うと、イエスは言った。「そうであれば、子は税を課されていません。27 しかし、反感を抱かせないために、湖に行って、釣り針を垂らしなさい。最初に釣れる魚を取って口を開けると、銀貨が1枚見つかります。それを取って、私とあなたの分の税を払いなさい。’)弟子たちは、エホバによく似たイエスを通して、エホバがどんな方かをよく知ることができました。(ヨハ 14:9 イエスは言った。「こんなに長い間一緒に過ごしてきたのに、フィリポ、あなたはまだ私を知らないのですか。私を見た人は、父をも見たのです。どうして、『父を見せてください』と言うのですか。’)冷たくてプライドが高く厳しい宗教指導者たちとは違い、エホバは謙虚で話しやすい存在です。

5. 謙虚さを忘れないでいると話しやすい人になれます。どうしてですか。

- 5 **どのようにエホバに倣えるか。**謙虚さを忘れないようにすれば、みんなにとって話しやすい存在になれます。謙虚でないと、ねたんだり、偉そうにしたり、厳しかったりしてしまい、周りの

人を遠ざけます。でも謙虚だと、優しくて思いやりがあり、心が広い人になれるので、周りの人を引き寄せます。(コロ 3:12-14) それで、皆さんは神に選ばれ、神に愛される聖なる人たちですから、温かい思いやり、親切、謙遜さ、温和、辛抱強さを身に着けましょう。13 引き続き互いに我慢し、寛大に許し合ひましょう。たとえ誰かに不満を感じるとしてもです。エホバが寛大に許してくださったのですから、同じようにしなければなりません。14 これら全てに加えて、愛を身に着けましょう。愛は完全な絆なのです。) 特に長老たちは、話しやすい人になることを目指すべきです。そのためにはまず仲間のそばにいないといけません。できる限り、集会にはオンラインではなく、じかに出席するようにしましょう。長老が兄弟姉妹と家から家の伝道と一緒にするのも大切です。長老のことをよく知って親しみを感じていれば、何か困ったことがあったとき相談しやすくなるはずですよ。

エホバは柔軟で分別がある②

6-7. エホバが柔軟に考えを変え、願いを聞き入れたどんな例がありますか。

6 プライドが高い人はたいてい自分の考えにこだわり、押し通そうとします。でもエホバは、あらゆる面で誰よりも優れているのに、謙虚なので自分の意見に固執せず柔軟な考え方をします。例えば、モーセの姉ミリアムにどう接したかを考えてみましょう。ミリアムはアロンと一緒にモーセを悪く言いました。モーセはエホバがリーダーに選んだ人だったので、ミリアムはエホバを悪く言っていたのも同然でした。エホバは激怒し、ミリアムは罰として重い皮膚病にかかりました。モーセはアロンに頼まれて、ミリアムを癒やしてください、とエホバにお願いします。エホバはどうしたのでしょうか。自分が下した裁きは覆さない、という態度は取りませんでした。モーセの願いを謙虚に聞き入れ、ミリアムを癒やしました。(民 12:1-15) ミリアムとアロンがクシュ人の妻のことでモーセを非難するようになった。モーセにはクシュ人の妻がいたのである。22人は言った。「エホバが話したのはモーセを通してだけでしょうか。私たちを通して話したのではありませんか」。エホバはこれを聞いていた。3 ところで、モーセは地上の全ての人の中で際立って温厚な人(*とても謙遜(温和)で、地上のほかの誰よりもそう)だった。4 突然エホバはモーセとアロンとミリアムに言った。「3人とも、会見の天幕の所に出なさい」。3人は出ていった。5 エホバは雲の柱のうちに下ってきて、天幕の入り口に立ち、アロンとミリアムを呼んだ。2人は前に出た。6 神は言った。「私の言葉を聞いてもらいたい。あなたたちの間にエホバの預言者がいるとしたら、私は幻の中で自分のことをその人に知らせ、夢の中でその人に話す。7 私に仕えるモーセについてはそうではない! 彼は私の民全体を託されて(d*私の家全体で、彼は忠実であることを示して)いる。8 私は顔を合わせて彼に話し、謎を用いずにはっきり語る。彼はエホバの姿を見る。それなのに、どうしてあなたたちは恐れずに、私に仕えるモーセを非難したのか」。9 エホバは2人に対して怒りに燃え、去っていった。10 雲は天幕の上から離れた。すると、ミリアムは重い皮膚病にかかって雪のように白くなった。アロンがミリアムの方を振り向くと、ミリアムは重い皮膚病にかかっていた。11 すぐにアロンはモーセに言った。「お願いです。どうかこの罪を私たちに負わせないでください! 私たちは愚かなことをしました。12 どうかミリアムを、死んで生まれた子供のように、腐りかけの状態にはしておかないでください!」13 モーセはエホバ

に向かって叫び、「神よ、どうか姉を癒やしてください！お願いします」と言い始めた。14 エホバはモーセに答えた。「父親が彼女の顔に唾を吐き掛けたとすれば、彼女は7日間辱められるのではないか。彼女を7日間宿営の外に隔離しなさい。その後、連れ戻してもよい」。15 ミリアムは7日間宿営の外に隔離された。民はミリアムが連れ戻されるまで旅立たなかった。)

7 ヒゼキヤ王に起きた事からもエホバの謙虚さについて学びます。エホバは預言者を通して、ヒゼキヤがもうすぐ死ぬことになると伝えました。それを聞いたヒゼキヤは涙ながらに、助けてほしいとエホバにお願いします。それでエホバは寿命を15年延ばしてあげることになりました。(王二20:1 その頃、ヒゼキヤは病気になり、死にそうになっていた。アモツの子である預言者イザヤが来て言った。「エホバはこう言っています。『家の人たちに指示を出しなさい。あなたは回復せず、死ぬからだ』」、5, 6「戻って、私の民の指導者ヒゼキヤにこう言いなさい。『あなたの父祖ダビデの神エホバはこう言っている。「私はあなたの祈りを聞いた。あなたの涙を見た。あなたを癒やそう。あさって(d*3日目)にはあなたはエホバの家に入る。6 私はあなたの寿命を15年延ばし、アッシリアの王の手からあなたとこの都市を救う。私は自分のため、また私に仕えたダビデのためにこの都市を守る』」。) エホバはヒゼキヤをかわいそうに思い、柔軟に考えを変え、願いを聞き入れました。

8. イエスは柔軟な方です。どうしてそれが分かりますか。(マルコ3:1-6)

8 イエスはエホバに倣っている。イエスは地球にいた時、柔軟な考え方をし、人のためになることをしました。例えば、頭が固い宗教指導者たちからの反対があっても、安息日に人を癒やし、助けました。(マルコ3:1-6 イエスは再び会堂に入った。そこに、片手がまひした(*なえた/d乾き切った)男性がいた。2人々は、イエスが安息日にその男性を治すかどうか、じっと見ていた。イエスを訴えようとしてだった。3 イエスは、片手がまひした(*なえた/d乾き切った)男性に言った。「立って、中央に来なさい」。4そして人々に言った。「安息日にしてよいのは、助けることですか、苦しめることですか。命を救うことですか、殺すことですか」。人々は黙っていた。5 イエスは憤りを覚えながら見回し、人々の心が無感覚なのを深く悲しんで、男性に言った。「手を伸ばしなさい」。男性がそうすると、手は治った。6すると、パリサイ派の人たちは出ていき、すぐにヘロデ党の人たちと協議を始めた。イエスを殺そうとしてであった。を読む。) クリスマン会衆のリーダーであるイエスは今も、柔軟な考え方をし、厳し過ぎることはありません。会衆の誰かが重大な過ちを犯してもすぐに見限ったりせず、行いを改めるための十分な機会を与えます。(啓2:2-5『私はあなたの行いと、労苦と忍耐を知っています。また、あなたが悪い人たちを容赦せず、使徒だと自称するもののは実は違う人たちを試して、彼らがうそつきだと見抜いたことも知っています。3さらに、あなたはよく忍耐しており、私の名のために辛抱してきました。疲れ果ててはいません。4しかし、とがめるべき点があります。あなたが、初めの頃に抱いていた愛を失ったことです。5それで、自分がどこから落ちたかを思い出し、悔い改めて、初めの頃にしていたことを行いなさい。もしそうせず、悔い改めないなら、私はあなたの所に行つて、あなたのランプ台を取り去ります。)

9. 柔軟で分別がある人はどんなことをしますか。(写真も参照。)

9 **どのようにエホバに倣えるか。** 私たちも、**エホバのように柔軟で分別がある人になりたい**と思います。(ヤコ3:17 一方、天からの知恵を持つ人は、第一に清く、次いで平和を求め、分別があり、進んで従い、憐れみと良い実に満ち、差別をせず、偽善的ではありません。) 例えば、**柔軟な考え方ができる親は子供を甘やかしたりは**しませんが、**無理なことを期待したりも**しません。ヤコブがそうでした。**創世記33章12-14節**その後エサウは言った。「さあ出発しましょう。私があなただの先をいきます」。13 ヤコブは言った。「お気付きのことと思いますが、子供たちは体力がなく、私が世話している羊や牛は子に乳を飲ませています。1日であってもあまり速く進むと、群れは死に絶えてしまうことでしょう。14 どうぞ、お兄さま、ぜひ先に進んでいてください。私の方は、家畜と子供たちに合わせてゆっくり旅を続け、セイルのお兄さまの所に参ります」。には、**ヤコブが子供たちの限界に配慮**したことが書かれています。また、バランスの取れた親は**子供同士を比較したりは**しません。**長老たちも、柔軟な考え方**をすることが大切です。たとえ**自分の意見とは違ったとしても、長老団の大多数が賛成して決めた事**なら、聖書の教えに反しない限り**喜んでサポート**します。(テモ1:3:2, 3 ですから、**監督は、とがめられるところがなく、1人の妻の夫で、節度をわきまえ、健全な考え方(*良い判断)をし、秩序正しく行動し、人をよくもてなし、教える資格がなければなりません。**3 また、**酪酊せず、暴力を振るわず、分別が**



あり、争いを好まず、お金を愛さず、) 私たちはみんな、**自分とは違う意見や考えの人のことを理解しようと努めます。**(ロマ14:1 信仰に弱いところがある人を迎え入れてください。異なる意見の善しあしを決め付けてはなりません。) **「分別があることが全ての人に知られる」**ようにしていきましょう。(フィリ4:5 分別があることが全ての人に知られるようにしてください。主はすぐ近くにいます。)

子供と伝道する時に、**柔軟でバランスの取れた考え方**をしましょう。(9節を参照)

エホバは辛抱強い③

10. エホバが人間に辛抱強く接したどんな例がありますか。

10 **謙虚でない人は待たされるのを嫌います。我慢がきかず、すぐにいらいら**します。**エホバ**はそれとは**正反対**です。**並外れて辛抱強い方**です。例えば、**ノアの時代**にエホバは悪い人たちを**120年後に滅ぼす**と言いました。**その間、エホバはじっと待つ**ことにしました。(創6:3 エホバは言った。「私がいつまでも人を大目に見ることはない。人は罪深い(d*肉体だ)からだ。それで、人が生きるのはあと**120年**である」。) **おかげでノアは子供を育てる**ことができ、**家族の助け**を借りて**箱船を造る**ことができました。後の時代、**アブラハムがソドムとゴモラについて何度も質問**した時、エホバに遣わされた**天使は辛抱強く話を聞き**ました。**謙虚でない人**だったら、「そんなことを聞くなんて**何様だと思**っているんだ」と言うはずですが。でもこの天使は、**話を遮**ったりせ

ず、アブラハムの気持ちを受け止めました。エホバに倣っていたからです。(創 18:20-33 そこでエホバは言った。「ソドムとゴモラの罪は極めて重く、彼らについての苦情の叫びはあまりにも大きいのです。21 私は下って行って確かめます。私に届いた叫び通りのことが起きているかどうかを知りたいのです」。22 ここで2人がその場を離れ、ソドムの方に向かった。しかしエホバはアブラハムの所に残った。23 それでアブラハムは近づいてこう言った。「あなたは本当に、邪悪な人と一緒に正しい人も滅ぼされるのですか。24 もし町の中に正しい人が50人いるとしたらどうでしょうか。それでも滅ぼされますか。50人の正しい人のためにその町を容赦することはされないのでしょうか。25 邪悪な人と一緒に正しい人も滅ぼして、正しい人と邪悪な人を同じ目に遭わせるようなことを、あなたがなさるはずはありません。あなたに限ってあり得ないことです。地上の人全てを裁く方は、正しいことを行われるのではありませんか」。26 エホバは言った。「ソドムの町に正しい人が50人いるなら、その人たちのために町全体を容赦しましょう」。27 アブラハムは再び言った。「エホバ、お願いします。土と灰にすぎない私ですが、申し上げさせてください。28 もし正しい人の数が50人に5人足りないとしたらどうでしょうか。5人足りないので町全体を滅ぼされますか」。神は言った。「45人いるなら、滅ぼしません」。29 アブラハムはさらに言った。「もし40人だとしたらどうでしょうか」。神は答えた。「その40人のために、滅ぼすことはしません」。30 アブラハムは続けた。「エホバ、どうか、お怒りにならずに聞いてください。もし30人しかいないとしたらどうでしょうか」。神は答えた。「30人いるなら、滅ぼしません」。31 アブラハムはさらに続けた。「エホバ、お願いします。申し上げさせてください。もし20人しかいないとしたらどうでしょうか」。神は答えた。「その20人のために、滅ぼすことはしません」。32 アブラハムは言った。「エホバ、どうか、お怒りにならずにもう一度だけ聞いてください。もし10人しかいないとしたらどうでしょうか」。神は答えた。「その10人のために、滅ぼすことはしません」。33 エホバは話し終えると去っていき、アブラハムは天幕に帰った。)

11. [ペテロ第二3章9節](#)によると、エホバが辛抱強く待っているのはどうしてですか。

11 エホバは謙虚な方なので、今も行動するタイミングを辛抱強く待っています。悪い世界を終わらせる時をすでに決めていて、その時を待っています。どうしてでしょうか。「一人も滅ぼされることなく、全ての人が悔い改めることを望んでいる」からです。(ペテロ第二3:9 エホバ(*)は約束を果たすのが遅いと考える人もいますが、そうではありません。神は、一人も滅ぼされることなく、全ての人が悔い改めることを望んでいるので、皆さんのことを辛抱しているのです。を読む) エホバがずっと待ってきたおかげで、これまで何百万人もの人がエホバとの友情を育てることができています。今後もっともっと大勢の人がそうしていく可能性があります。でもエホバは永遠に待ち続けたりはしません。人を愛していますが、悪いことをずっとそのままにしておくことはせず、必ず終わらせます(ハバ2:3 この幻は定められた時のためのもので、終わり(*実現)に向かって急いでおり、偽りではない。たとえ遅れるとしても(*遅れているように思えても)、待ち続けよ(*心から待ち望め)。必ずその通りになるからである。遅くなることはない!)

12. イエスはエホバの辛抱にどのように倣っていますか。

12 イエスはエホバに倣っている。イエスは何千年もの間、エホバの辛抱に倣ってきました。サタンがエホバとエホバに仕える人たちを中傷するのをずっと見てきました。(創3:4, 5 蛇は女に言った。「あなたたちは決して死にません。5 その木の實を食べた日に、目が開かれ、あなたたち

が神のようになって善悪を知るようになることを神は知っているのです」。ヨブ 1:11 試しに、あなたの手を出して、彼の持つもの全てを破壊してください。彼はきっと面と向かってあなたを侮辱します。啓 12:10 私は大きな声が天でこう言うのを聞いた。「今や、私たちの神の救いと力と王国、またその方のキリストの権威が実現しました！私たちの兄弟たちを神の前で昼も夜も訴える者が投げ落とされたからです。」多くの人たちがひどく苦しむのを見えてきました。それで、「悪魔の行いを終わらせ」たいと強く願っているに違いありません。(ヨハ 3:8 罪を犯し続ける人は悪魔から出ています。悪魔は初めから罪を犯してきたからです。神の子が現れたのは、悪魔の行いを終わらせる(*滅ぼす)ためです。)でもイエスは、エホバが決めたタイミングをじっと待っています。どうしてでしょうか。物事を動かす一番いい時を知っているのはエホバだということ謙虚にわきまえているからです。(使徒 1:7 イエスは言った。「天の父の権限で定められた時や時期について、あなたたちが知る必要はありません。」)

13. イエスは使徒たちにどのように辛抱強く接しましたか。どうしてですか。

13 イエスは使徒たちに辛抱強く接しました。例えば、誰が一番偉いのかで何度ももめていても見放したりせず、根気強く教えました。(ルカ 9:46 その後、弟子たちの間で、自分たちの中で誰が一番偉いかという議論が起きた。; 22:24-27)ところが、自分たちの中で誰が一番偉いのかについても激しい議論が起きた。25 しかしイエスはこう言った。「国々の王は威張り、権威を持つ人たちは善行者と呼ばれます。26 しかし、あなたたちはそうであってはなりません。あなたたちの間で一番偉い人は一番若い人のように、教導く人は奉仕する人のようになりなさい。27 というのは、食事をして(*食卓で横になって)いる人と給仕している人では、どちらが偉いのですか。食事をして(*食卓で横になって)いる人ではありませんか。しかし私は、あなたたちに仕える人です。)イエスは、使徒たちが必ず変われると信じていました。あなたも同じ間違いを何度も繰り返してしまうことがありますか。そんな時、自分を見守ってくれている王イエスが謙虚で辛抱強い方だということを思い出すと安心できます。

14. どうすれば辛抱強い人になれますか。

14 **どのようにエホバに倣えるか。**エホバのように考え行動するには、「キリストの考え」をつかむことが欠かせません。(コリ 2:16 「エホバの考えを知るようになって、その方を教えられる人などいるのでしょうか」。とはいえ、私たちはキリストの考えを知っています。) どうすればキリストの考え方を身に付けられるのでしょうか。近道はありません。福音書を読んで、イエスの考え方についてどんなことが分かるかじっくり探ることが大切です。そして、「イエスのように謙虚な考え方ができるよう助けてください」とエホバにお願いしましょう。そんなふうにしてキリストの考え方が身に付いてくると、エホバのように辛抱強い人になることができ、自分自身にも仲間にも、もっとおおらかになれます。(マタ 18:26-30 奴隷はひれ伏して敬意を表し、『もうしばらくご辛抱ください。全部お返ししますから』と言いました。27 主人は、かわいそうに思い、奴隷を許して負債を取り消してあげました。28 ところが、その男性は出て行って、自分に 100 デナリを借りている仲間の奴隷を見つけ、その奴隷を捕まえて首を絞めながら、『借金を全部返せ』と言いました。29 仲間の奴隷はひれ伏して嘆願し始め、『もうしばらく辛抱してください。』

返しますから』と言いました。30 しかしその男性は応じようとせず、借金を返すまで牢屋に入れてしまいました。35 もしあなたたち各自が仲間を心から許さないなら、天の父もこの主人と同じようにします。)

エホバは目立たない人を大切にしている④

15. エホバが目立たないごく普通の人を大切にしてきたどんな例がありますか。(サムエル第一 2:8)

15 サムエル第一 2:8 立場が低い人を地面から起き上がらせます。貧しい人を灰の山(if*ごみ捨て場)から引き上げて、高官たちと共に座らせ、榮譽ある席を与えます。大地の土台はエホバのもので、神はその上に土地を据えます。を読む。宇宙の主権者エホバが、目立たないごく普通の人のことを気に掛けているというのは、本当にすごいことです。エホバは昔からずっと、そういう人たちを大切にし、重んじてきました。幾つかの例を見てみましょう。中にはそれほど知られていない人もいます。でもエホバはそういう人たちのことを聖書に記録しました。例えば、族長時代に生きていたデボラという乳母についてモーセに書かせました。デボラは125年ほどにわたって、イサクとヤコブの家族に仕えました。デボラについて多くのことは分かっていませんが、エホバは彼女がどれほど深く愛されていたかを聖書に記録させました。(創 24:59)そこで彼らは、リベカとその乳母(c*かつての乳母が召し使いとしてリベカに仕えていた)、またアブラハムの従者と付き添いの人たちを送り出すことにした。:35:8その後リベカの乳母デボラが死に、ベテルの麓にある巨木(c*ブナ科の木と思われる)の下に葬られた。それでその木はアッロン・バクト(m*泣き悲しみの巨木)と名付けられた。、脚注デボラはリベカに同行しました。(創 24:59)イサクの家で長年仕えた後、多分リベカの死後だと思われませんが、デボラはヤコブの家の者となりました。リベカがイサクと結婚してから125年ほど後のことと思われませんが、デボラは死に、ベテルの大木の下に葬られました。その木に付けられた名前(アッロン・バクト、「泣き悲しみの巨木」の意)は、彼女がヤコブとその家族にいかにも愛されていたかを示しています。)何百年も後の時代、エホバは羊飼いの少年ダビデを選んでイスラエル国民の王にしました。(サム二 22:1)ダビデは、サウルと全ての敵の手からエホバに助け出された日に、この歌をエホバに向かって歌った、36あなたは救いの盾を私に下さる。私が優れた者になれるのはあなたが謙遜だから。)イエスが生まれた時、エホバは天使たちを遣わして、メシアになる人がベツレヘムで生まれたという知らせをまず羊飼いたちに伝えました。(ルカ 2:8-11)同じ地方で、羊飼いたちが屋外で生活して、夜間に羊の群れの番をしていた。9突然、エホバの天使がその人たちの前に立ち、エホバの栄光が周囲にきらめいた。羊飼いたちはとても恐ろしくなった。10しかし天使は言った。「恐れることはありません。聞きなさい。私は民の全てにとって大きな喜びとなる良い知らせを告げます。11今日、ダビデの町で、皆さんの救い主、主であるキリストが生まれました。)ヨセフとマリアが神殿にイエスを連れてきた時、エホバは高齢のシメオンとアンナに、イエスを見るという特別な経験させました。(ルカ 2:25-30)さて、エルサレムにシメオンという男性がいた。神を畏れる正しい人で、イスラエルが慰めを受ける時を待っており、聖なる力に導かれていた。26さらに、エホバのキリストを見るまでは死なない、と聖なる力によって神から啓示されていた。27シメオンは聖なる力に動かされて神殿に入った。両親が赤ん坊のイエスを連れて、律法のしきたり通りに

行うために入ってくると、²⁸シメオンはその子を腕に抱き、神を賛美して、言った。²⁹「主権者である主よ、今あなたは宣言通り、この奴隷を安らかに行かせてくださいます。³⁰私の目は救いの手段(*あなたが救いをもたらす方法/あなたによる救い)を見たからです、[36-38](#)さて、アシェル族の人で、パヌエルの娘であるアンナという女預言者がいた。この女性はかなり年を取っていた。結婚して7年間夫と暮らしたが、³⁷今はやもめで84歳だった。いつも神殿に来て、昼も夜も神聖な奉仕をし、断食と祈願をしていた。³⁸アンナはちょうどこの時に近くに来て、神に感謝し始め、エルサレムの救出を待つ人全てにその子のことを語りだした。) 確かに、エホバは誰よりも高い地位にいますが、立場が低い人を大事にします。

16. イエスはエホバに倣って目立たない普通の人をどのように大切にしましたか。

16 **イエスはエホバに倣っている。** イエスはエホバと同じように、目立たない人を大切にしました。「教育のない普通の」人に神の王国について教えました ([使徒 4:13](#) 支配者と長老たちは、ペテロとヨハネの大胆な話し方を見た時、2人が教育のない普通の人であることを知って、非常に驚いた。そして、2人がイエスと一緒にいたことに気付くようになった。[マタ 11:25](#) その時、イエスは言った。「天地の主である父よ、あなたを大いに賛美します。あなたはこのようなことを賢い知識人たちから隠し、幼い子供たちに啓示されたからです。) 病人を治す時も、その人が愛され、大切にされていると感じられるようにしました ([ルカ 5:13](#) イエスは手を伸ばして男性に触り、「そう望みます。良くなりなさい」と言った。すぐに病気は消えた。) 亡くなる前の晩には、使徒たちの足を洗うという召し使いがするような仕事を買って出ました ([ヨハ 13:5](#) それから、たらいに水を入れて弟子たちの足を洗い、腰にくくった布で拭き始めた。) イエスは天に戻る前、弟子たち全てにとっても大切な榮譽ある仕事を任せました。多くの人に良い知らせを伝え、いつまでも生きられるように助けるという仕事です ([マタ 28:19, 20](#) それで、行って、全ての国の人々を弟子としなさい。父と子と聖なる力の名によってバプテスマを施し、²⁰私が命令した事柄全てを守るように教えなさい。私は体制の終結までいつの日もあなたたちと共にいるのです)

17. どんなふうに人を敬い、大切にできますか。(写真も参照。)

17 **どのようにエホバに倣えるか。** 私たちは、相手の背景、人種、教育レベルなどに関わりなく良い知らせを伝えます。そうやってどんな人のことも大切にします。また、仲間の兄弟姉妹が自分より上だと考えて敬います。自分にどんな才能や奉仕の機会があるとしても、そういう謙虚な考え方を忘れません。([フィリ 2:3](#) 対抗心を抱いたり、自己中心的になったりしてはなりません。謙遜になり、自分より他の人の方が上だと考えてください。) エホバは私たちが「自分の方から



進んで」人を敬おうとしている姿を見て、喜んでくれます。([ロマ 12:10](#) 兄弟愛を抱いて、優しい愛情を示し合いましょう。自分の方から進んで人を敬ってください。 [ゼバ 3:12](#) 私は謙遜でつましい人々があなたの所に残るようにする。その人々はエホバのもと(d*エホバの名)に避難する。)

どんな人にも良い知らせを伝えるなら、謙虚なエホバに倣える。(17節を参照)

*写真や挿絵: 姉妹たちが謙虚なエホバに倣って、刑務所で服役中の女性たちに聖書を教えている。

18. エホバのように謙虚になりたいと思うのはどうしてですか。

18 私たちも優しいお父さんエホバのように、謙虚な人になりたいと思います。そうすれば、話しやすく、柔軟で、もっと辛抱強い人になれます。人を敬い大切にできるようにもなります。そんなふうにエホバに倣おうとする私たちを、エホバはますます愛してくれます。(イザ 43:4 私はあなたを貴ぶようになり、重んじ、愛した。それで、あなたの代わりに人々を与え、あなたの命と引き換えに国々を与える。)

謙虚さはどう役立ちますか

1. 話しやすい人になるために

・S05 謙虚だと、優しくて思いやりがあり、心が広い人になれるので、周りの人を引き寄せる。特に長老たちは、話しやすい人になることを目指して集会に直に出席し伝道を一緒にして、仲間のそばにいるようにする。

2. 柔軟で分別がある人になるために

・S09 エホバのように柔軟で分別がある人になるように努める。例えば、柔軟な考え方ができる親は子供を甘やかしたりはしないが、無理なことを期待したりもしない。また、バランスの取れた親は子供同士を比較したりしない。長老たちも、柔軟な考え方をし、たとえ自分の意見とは違っても、長老団の大多数が賛成して決めた事を喜んでサポートする。私たちはみんな、自分とは違う意見や考えの人のことを理解しようと努める。

3. 辛抱強い人になるために

・S14 エホバのように考え行動するためにはキリストの考え方を身に付ける必要があり、そのために福音書を読んで、イエスの考え方についてじっくり探ることが大切。そして、「イエスのように謙虚な考え方ができるよう助けてください」とエホバにお願いできる。このようにキリストの考え方が身に付いてくると、エホバのように辛抱強い人になれ、自分自身にも仲間にも、もっとおおらかになれる。

159 番の歌 エホバをたたえる

△ 写真や挿絵: 姉妹たちが謙虚なエホバに倣って、刑務所で服役中の女性たちに聖書を教えている。

△ (エフェ 5:1) 皆さんは子供として神に愛されているのですから、神に倣ってください。